

EBPM・行政事業レビューの推進体制について

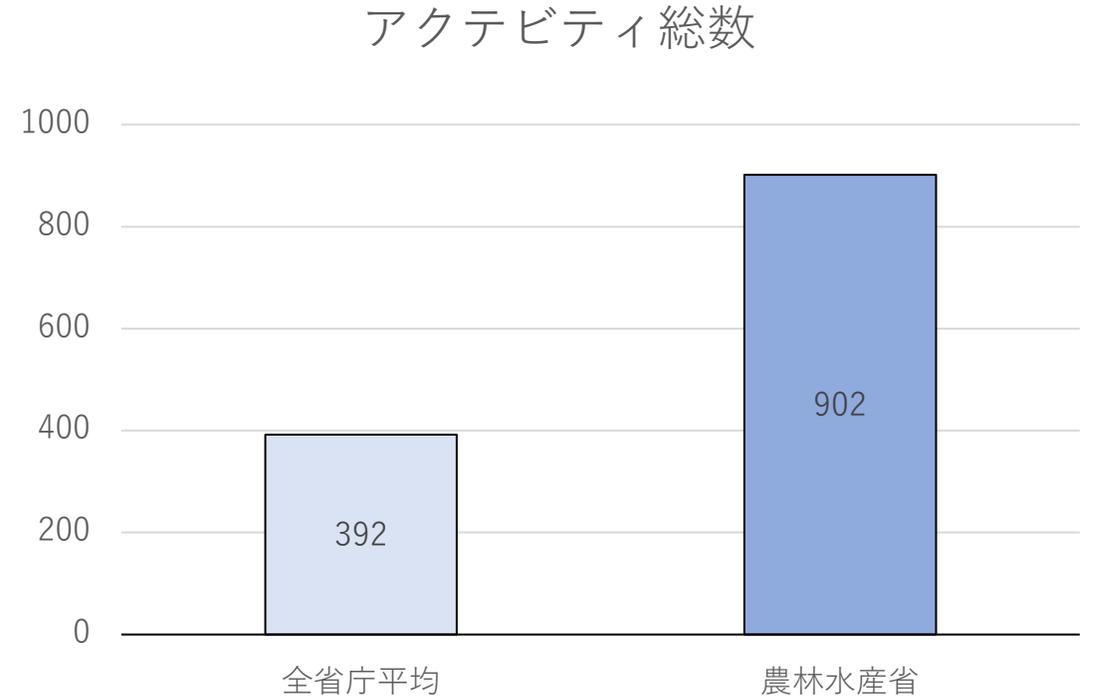
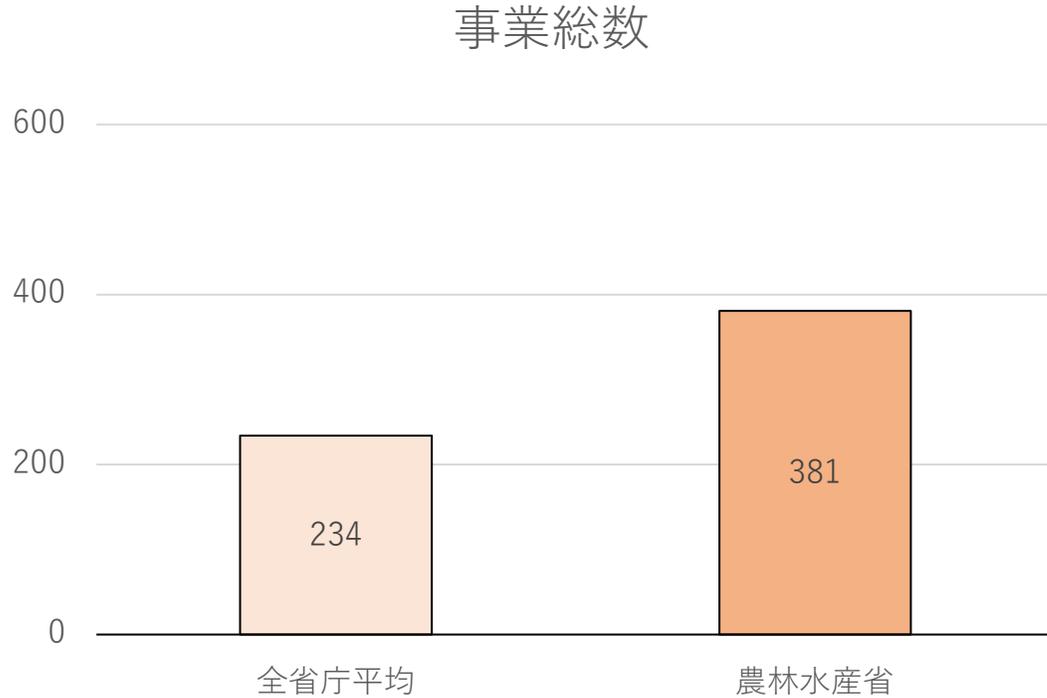
農林水産省

第3回EBPM推進委員会

令和6年1月18日

行政事業レビューの対象事業

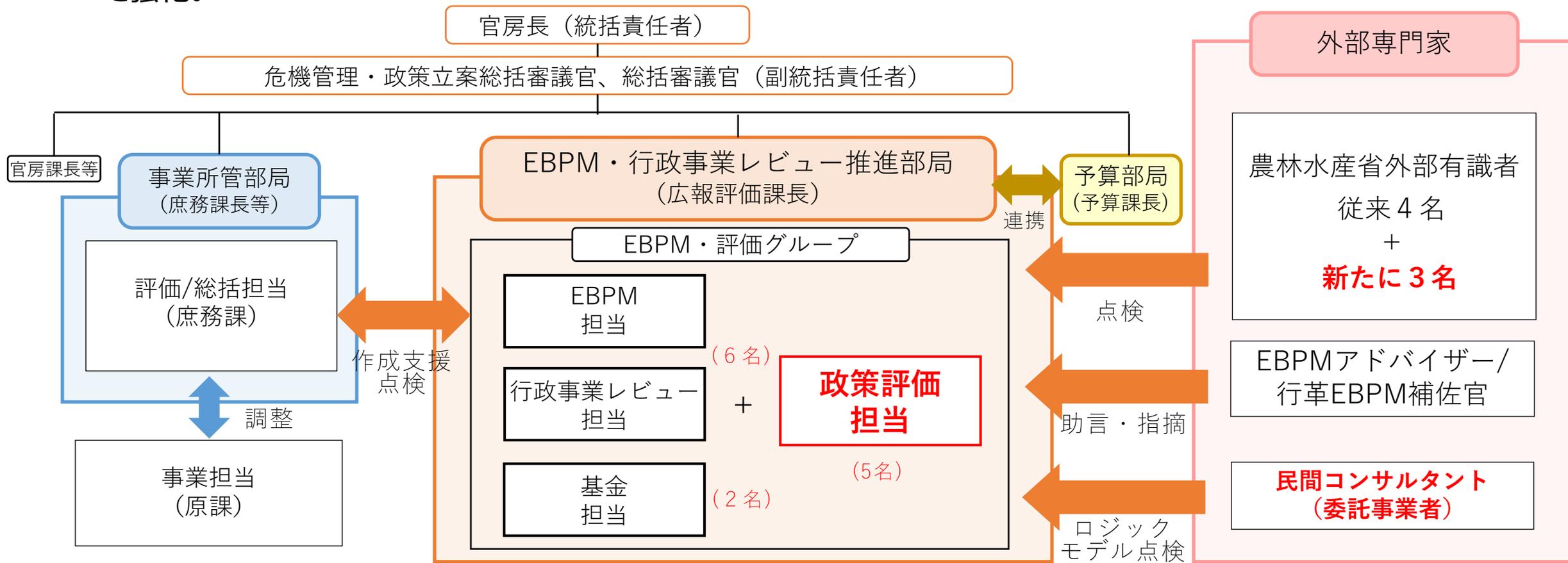
- 令和5年度の行政事業レビューの取組については、EBPMの導入に伴うレビューシートの様式の変更により、アクティビティごとの記載項目が増加。
- 農林水産省は、レビューシートの作成数（事業数）に比してアクティビティ数が多く、シートの作成・点検に係る業務量が大幅に増加したことから、EBPMを重視しながら一連の業務を遂行するための体制を構築。



(出典) 行革事務局HP 「令和5年度行政事業レビューシートの主要事項のデータベース」 (令和5年12月15日閲覧) から作成。

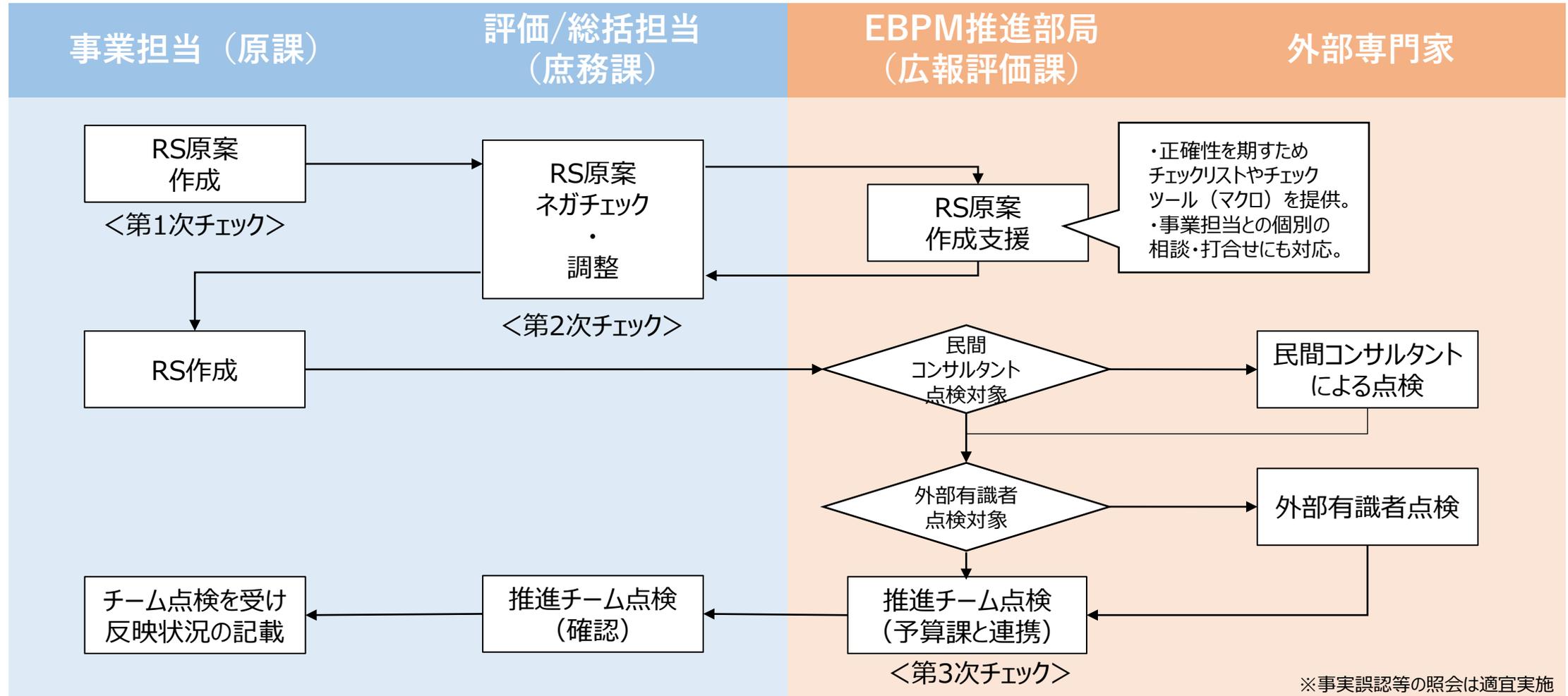
行政事業レビュー推進チームをめぐる体制強化

- 農林水産省では、広報評価課が行政事業レビューとEBPMを所管。事務局として、両取組を一体的に運用。
- その上で、業務が集中する時期には、広報評価課内で政策評価担当の動員や委託事業者も活用する弾力的な体制を構築。
- また、令和5年度には、行政事業レビュー外部有識者を4名から7名に増員し、負担増を回避しつつ、外部有識者点検を強化。



行政事業レビューシート（RS）の作成・点検フロー（イメージ）

- 農林水産省行政事業レビュー行動計画に基づき、複層的な点検を実施。
- 各局庁の庶務課は事業実績の正確な把握・確認を中心に行うとともに、広報評価課は外部専門家の点検を踏まえつつ、レビューシートの記載項目全般について推進チーム点検を実施。



ロジックモデルの精緻化（ブラッシュアップ）

- 民間コンサルタント（委託事業者）が、レビューシートに記載された政策効果の発現経路（ロジックモデル）の各項目について、「点検シート」に沿って点検。令和5年度は、レビューシート237事業、基金シート20基金事業を対象に点検を実施。点検結果を推進チーム点検に活用し、ロジックモデルを精緻化。

< 点検シートにおける点検項目 >

観点	点検の視点
アクティビティ	(1) 政策の具体的な活動が記載されているか（誰に対して何を行うのか）。
アウトプット	(2-1) 事業を実施した直接の結果となっているか（アクティビティを誰にどれだけ実施するか（提供・整備）が記載されているか）。
	(2-2) アウトプットの活動指標として、事業の適切な実施状況を測定するための指標が設定されているか。
短期アウトカム	(3-1) 事業の対象者に生じた効果となっているか（事業対象者に生じる効果より広すぎる効果になっていないか。）。
	(3-2) 事業の実施後短期間（1～2年後）に生じる効果になっているか。
	(3-3) 事業効果は具体的に記載されているか（「○○実施計画の目標達成」のような抽象的な記載になっていないか。）。
	(3-4) 短期・中期・長期アウトカムの内容が同一となっていないか。
	(3-5) アウトプットとのつながりが飛躍していないか（アウトプットから短期間に生じる効果となっているか）。
	(3-6) 短期アウトカムの成果指標として、対象者に短期的に生じた効果を測定する指標が設定されているか。
中期アウトカム	(4-1) 事業の対象者に生じた効果又は他への波及効果となっているか（アウトカムが段階的に設定されているか）。
	(4-2) 短期アウトカムとのつながりが飛躍していないか。
	(4-3) 中期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。
長期アウトカム	(5-1) 事業の対象者に生じた効果又は他への波及効果となっているか（アウトカムが段階的に設定されているか）。
	(5-2) アウトプットおよび短期、中期アウトカムとのつながりが飛躍していないか。
	(5-3) 長期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。
	(5-4) 長期アウトカムは事業の目的と整合しているか。

外部有識者点検

- 令和5年度の外部有識者点検は、レビューシート（137事業）に加えて、全ての基金シート（56基金事業）が対象。
- レビューシートと基金シートの点検による外部有識者の大幅な負担増が懸念されたことから、新たに3名の有識者に委嘱。
- 両シートを合わせた一人当たりの点検数は昨年同水準に留まったものの、令和5年度は記載項目が増えていることから、外部有識者の負担が大幅に増加。

外部有識者一人当たり点検数（レビューシート+基金シート）

